

大ニ日中

版 コ ス ネ シ

道新 16 127
高新 16 212
新報 16 40

うたふう「海道賛歌」- 札幌 16 100
「東編 四億円の祭典」 16 100

No. 377 36. 4. 7

中口新 16 103

125かい「花の宴」- 名古屋 16 100
「東編 四億円の祭典」 16 100

一、女子一〇〇バタに世界新

——第三回日本室内水上選手権

東京オリンピックを目指して選手強化をはかる日本水泳界では、シーズンに先がけ四月一日、二日の両日、東京千駄ヶ谷の室内プールで、オーストラリアから新鋭五選手を招いて第三回室内水上選手権大会が開かれました。
強豪山中に一步もひけをとらず、堂々とわたりあつたハイティーンのウッドとウインドル、又女子バタフライに出場した若冠十七歳のアンドリュースは一〇メートルで一分八秒九の世界新を樹立、豪州招待選手が二線級とはいえ出場種目に圧倒的強みを見せたことは豪州水上陣の選手層の厚きを見せてくれた今度の大会でした。

一、どんでん返しのブドウ酒事件

——三重

三月二十八日三重県名張市葛尾の公民館で生活改善クラブの婦人がブドウ酒で乾杯したところ突如五人が死亡、十人が重体に落入るといふ事件が発生しました。
死体解剖の結果、死因は農業による中毒死とわかり、捜査本部は毒殺の線が濃いと推定、物の証拠である農薬の容器など裏付け捜査を開始しました。元会長の奥西勝を調べた所、突然、妻の千恵子が農薬を入れるのを見たと言言。当局は死んだ千恵子を犯人と断定するとともに勝のあいまいな点を追求したところ勝の単独犯行を自供しました。
妻と愛人との三角関係を清算しようとしたもので、山村という「閉ざされた社会」の悲劇と見ることができましよう。

一、お開帖はじまる

——善光寺

信濃路の春を飾る長野善光寺のお開帖は、四月一日から五十日に及ぶ祭典の幕を明けました。
この日境内を埋めた善男善女がお待ちする中に、皇太子さま御夫妻もお参りされ、築大僧正の案内で回廊から善男善女に手をふつておこたえになりました。絵巻物のような開びやく庭儀式の稚児さん行列などお開帖の善光寺は、大変な賑わいをみせていました。

一、四億円の祭典

——名古屋

中部日本新聞社後援による第十五回全国菓子博覧会は、高松宮ご夫妻をお迎えして四月三日、愛知県庁前広場の会場で華やかに十五日間の幕を開きました。
会場には各地から出品された二万余点、四億円に上るお菓子が陳列され、なかでも人气的なのは名古屋城五人がかりで四十五日、お値段はしめて百五十万円といわれ、見物の子供たちもこんなお菓子が食べられたらなあ!!と思わず舌なめずりする程見事な出来ばえ、文字通り豪華なお菓子の祭典です。

日本の群像

一、この子らとともに

——岩手・東京

岩手県の玉山村は北上山脈のふところに抱かれる山村です。
かつては子宝と呼ばれ、その誕生を祝福された子供達も今では生活の重荷にさえなろうとしています。そこで卒業間近の三月に入ると先生たちは職員会議を開いて、子供達の身の振り方に額を集めるのです。卒業式も終えてこの村から三人が東京に就職することになりました。偉くなつて、楽な生活をしておくれ!!と、親の果せなかつた夢と希望に送られていよいよ出発です。
上野駅近くの広場で子供達は引率して来た先生に励まされながら雇主に引きとられていきます。先生はその足で去年の教え子を訪問。真面目に働いてくれたことが、先生には何よりうれしかったことでした。
一粒の麦は、きびしい下積の生活に耐えながらも、こうした先生の慈愛にはぐくまれながらやがてはきつと大きな実りを約束してくれることでしょう。